

あたごかみすぎどおりのいちょうなみき

愛宕上杉通のイチョウ並木

黄金色に輝くイチョウの迫力ある光景

広瀬通(P.34)から上杉山中学校までの南北およそ2kmにわたって続く愛宕上杉通のイチョウ並木。中でも広瀬通から北一番丁通にかけての約1kmにはひととき大きな木々が並んでおり、別名「银杏坂」と呼ばれ、この地区のシンボルとして親しまれています。秋にイチョウ

がいつせいに黄葉すると、通りは黄金色に輝く三本の川のような美しく迫力ある光景になります。新緑の頃、新芽の生長につれて並木全体が薄緑色に変化していく姿も美しく、季節ごとに立ち寄りたいた仙台を代表するイチョウ並木です。

遅速ある銀杏黄葉の並木かな 山田史子
上杉のイチョウ並木は秋の色
ギンナン拾い庭に育てる 渋谷康子



▲愛宕上杉通のイチョウ



▲三本の川のような光景

ひとことメモ

イチョウは防火や防風の役割を果たすことから、市内では街路樹として多く植えられている樹木のひとつで、広瀬通(P.34)や晩翠通(P.35)など、美しい並木がいくつも見られます。



▲イチョウ並木(撮影:田中哲郎)

アクセスガイド

JR仙台駅から徒歩5分(広瀬通との交差点まで)

●所在地: 青葉区本町一丁目から
青葉区上杉六丁目